質問事項　「住みやすい町づくり」

利根実業高等学校　３年　太田（おおた）　雅人（まさと）（27番）

　通学時、国道の歩道は歩きやすいですが、裏道のような細い路地では、車と接触しそうになる所があります。小学生以下の子ども達の為にも、利用しやすい歩道の整備が必要だと考えます。

　例えば、ポールを設置するのでも良いのではないでしょうか。夜だと車道と歩道の境が分かりづらく、ポールがあるだけでも車と接触する危険性が少なくなると思います。また、雨が降ると水たまりができやすい歩道があり、通学上修繕してほしいと考えます。

　次に児童生徒がよく通学する区域では、自転車と歩行者の兼用道があると良いと思います。道幅が広い道路なら分けても構いませんが、あまり道幅に余裕のない道路で自転車、歩行者と分けてしまうと、何かを避ける為に自転車が急に車道に飛び出すので、かえって事故の可能性を増やしてしまうと思います。兼用道とする事で、自転車もある程度歩行者に注意して運転すると思います。

　以上の事を実施していく事で、より安全で住みやすい町になっていくと思います。